

## 編 集 後 記

医原性疾患が重要視されるようになってひさしい。ところで、この“医原性”は英語の“iatrogenic”の訳語であるが、最近アメリカ合衆国のある有力医学雑誌に、“iatrogenic”という語は misnomer ではないかという投書があった。〇〇 genic といえば、carcinogenic, teratogenic というように、その〇〇をうみ出すという意味であって、〇〇がうみ出すというのではないという主旨である。この論理でいくと、“医原性”の英語は“iatriic”というのが正しいことになる。新設医大の増加で、まもなくわが国も年々多くの医師を世にうみ出すことになる。そういう社会を iatrogenic society というのは正しい英語であろうか。

(T. T.)

## 編 集 委 員

石 神 襄 次      前 川 正 信      宮 崎 重      新 谷 浩  
園 田 孝 夫      友 吉 唯 夫 (副主幹)      吉 田 修 (主 幹)

## 購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)前納していただきます。  
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間15ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

## 投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。  
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けません。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
  - A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)  
文献名は正式略称を用いてください。  
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
  - B 単行本の場合著者氏名: 書名. 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受け付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部, 書留便。

---

泌尿器科紀要 第22巻 第5号      1976年7月25日 印刷      1976年7月31日 発行  
創刊 稲田 務      顧問 加藤 篤二      定価 500円(送料別)  
発行 吉田 修      発行所 泌尿器科紀要編集部  
〒606 京都市左京区聖護院川原町54      京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)  
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

---